

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	沿線整備推進事業			会計	01	款	03	項目	04	04	01	01	大事	小事	
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）			主管課	まちづくり推進課									
施策	1-2	地域特性に合った良好な市街地整備			主管課長	小野 満寿夫									

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	つくばエクスプレス沿線整備事業区域	意図	つくばエクスプレス沿線整備事業の促進を図る。
事業内容	つくばエクスプレス沿線整備事業の促進を図るための事務的経費。			
事業開始から現在までの状況変化	事業の進捗に伴い、関係機関との協議や事業計画変更等による調整が多くなっている。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）	
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		618,160	436,070	435,310			
事業費(b)(円)		241,660	247,200	249,500			
うち一般財源		241,660	247,200	249,500			
職員給与費(c)(円)		376,500	188,870	185,810			
人役・職員(人)		0.05	0.02	0.02			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)			0.03	0.03			
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					

事務事業の業務改善について

今年度(H29)の改善計画	関係機関との協議について、電気通信技術を組み合わせることで現場での打ち合わせ回数を減らすなど、旅費の軽減を図る。
今年度(H29)に実施した取組	出張が伴う事務について、インターネットを活用し、会議等を集約することにより、旅費の軽減を図った。

取組の課題	事業の進捗により、事業計画の変更や各地区の課題解消に向け、関係機関との協議が多くなっている。
今後(H30以降)の改善計画	引き続き、関係機関との協議を効率的に行い、時間の有効活用と旅費の削減に努める。